



# 越谷市議会議員 福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 No.3 2012年新春号

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120  
 TEL/FAX 048-978-3335  
 Mail [info@akira-fukuda.com](mailto:info@akira-fukuda.com) HP <http://akira-fukuda.com>

※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、印刷部分だけをインターネット専門業者に依頼することにより、最小限の費用にて作成しています。

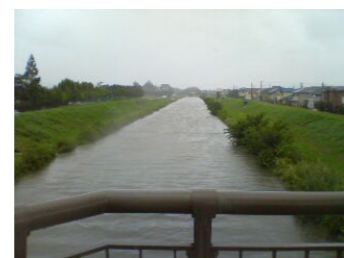
GET GOAL  
FUJUDA!!

## 治水(洪水)対策を強化せよ

### 12月議会・一般質問から

ご存じのとおり本市は昔から水郷越谷といわれるように、河川が多いまちであり、河川の氾濫(特に新方川の氾濫)による水害に多く悩まされてきたという歴史を持っています。そのような中、昭和57年、昭和61年の2回の新方川改修の河川激甚災害対策特別緊急事業をはじめ、多くの関係者の方々のご尽力により、洪水による被害を大幅に減らしてきました。しかしながら近年、全国各地で想定外の豪雨がおこり、大きな被害を発生させています。また今年の台風15号によって越谷市でも一部の

地域で内水滞留により一時的な道路の冠水が発生しました。常日頃から、地域の皆様から「集中豪雨の際は大丈夫なのか?」と不安の声を頂いていますし、3月11日に発生した東日本大震災で思い知らされたように、すでに『想定範囲外』という言葉は許されない状況であると認識する必要があります。このような状況からしても、もう一度越谷市における治水対策について見直す必要があると考え対策の方向性について質問しました。



台風によって水位が上がった新方川

### 内水滞留シミュレーションの実施と防災訓練等の強化について

集中豪雨の際、市街地から河川に水を排水する処理が追いつかず、水が市街地側にたまってしまいう内水滞留については、まだまだ課題があると考えます。越谷は毎時、約50ミリの降水量での治水対応となっているため、これ以上の雨が降ると内水滞留が起こるのは明白です。全国各地における最近の集中豪雨における時間あたりの最大降水量は越谷の対策基準の倍である100ミリを超えているという事実からしても、内水滞留の問題の



御料堀排水ポンプ場

大吉調整池 【越谷市の代表的治水対策施設】

取り組みは予断を許さない状況だと言えます。そこで内水滞留の対策の第一歩として『集中豪雨における内水滞留シミュレーション』を早急に実施し、万が一の場合の被害地域/被害状況を把握し、現在の外水氾濫を想定した洪水ハザードマップに加え、内水滞留ハザードマップも作成すべきと質問(提案含む)しました。また他市の事例から洪水の際の避難の難しさを訴え、防災訓練の強化についてもあわせて質問しました。市長からは『内水滞留シミュレーションの実施』については、雨水幹線などの整備計画策定や、市民への避難にむけた情報提供にあたり有効な手段と考えている。実施については、過去に浸水被害があった地域を中心に取り組んでいく。防災訓練についてもハザードマップの周知・普及につとめ、地域の要望を聞きながら、水害に対応した訓練も取り入れていくとの答弁がありました。

## 『福田あきら』ただいま情報発信中



①ホームページ <http://akira-fukuda.com>  
→政策やプロフィールを公開中



②ブログ(日記)  
(福田あきらの政治家日記)  
<http://blog.akira-fukuda.com>  
→越谷市議会議員としての日々の活動を日記形式にて公開中



③twitter(ツイッター): 個人のつぶやき  
[http://twitter.com/akira\\_fukuda](http://twitter.com/akira_fukuda)  
→今、何をしているのかリアルにお伝えします。



※市民の皆様から相談を頂きました件についても、出来る限り掲載をしていく予定ですので、ぜひご確認ください。また普段疑問に思っていることなど気軽にご相談ください。

### 福田 あきら(36歳) プロフィール

【所属会派】 民主党・ネット・無所属の会 【常任委員会】 教育・環境経済常任委員会  
 【会派内担当】 会計 【その他役割】 越谷・松伏水道企業団議会議員



- 経歴
  - 1975年 越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
  - 1982年 清浄院幼稚園卒園
  - 1988年 越谷市立桜井南小学校卒業
  - 1991年 越谷市立越谷北中学校卒業
  - 1994年 埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
  - 1998年 法政大学法学部法律学科卒業
  - 2000年 現:伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社  
⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
- 資格 基本情報技術者/宅地建物取引主任者等
- 家族 妻と3歳の長男
- サッカー選手としての経歴
  - ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
  - ・越谷北中学校サッカー部(埼玉県代表選抜選手)
  - ・越谷北高等学校サッカー部(埼玉県代表選抜選手)
  - ・プリマハムフットボールクラブ土浦
  - ・水戸ホーリーホック【現リーグ2部】
  - 主な成績
    - 全国社会人サッカー選手権大会優勝
    - 福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
    - など三度の日本一を経験

## 12月議会・一般質問から(続き)

### 地域(越谷)ブランドについて

今年産業の活性化を目的に、越谷ブランドの認定制度が開始されました。さっそく9つの商品が誕生し、その効果に期待しているところです。そのなかで観光都市ではない越谷市が本事業を成功に導くためにどのような戦略を立てているか質問しました。市長からは、まずはホームページ、マスコミ、イベントを通じてPRしていくと同時に、自らも積極的に宣伝していく。まずは越谷市内で盛り上げ、それを足がかりに市外、県外と普及していくことを期待し、越谷の市内産業の活性化と市内外の知名度向上につながるようしっかりと努力していきたいとの答弁がありました。



越谷ブランド認定された9つの商品

### 県道平方東京線について



埼玉県、越谷市ともに「県道平方東京線については整備していく」という姿勢は一致しているものと思われま。また県の関係者とお話をさせて頂いたところ、一部について、拡張工事が可能ではないか？との声も聞こえてきました。そこで県道平方東京線の整備の進捗と今後の見通しについて、質問しました。市長からは、今年度においては、**一部の区間において車両のすれ違いができる避難所を整備する予定がある**と聞いている。早期に事業進捗が図れるよう埼玉県と連携していきたいとの答弁がありました。

## 12月議会・主な議案から

### 初期救急急患診療所開設へ

越谷市の救急車での搬送件数は、年間約1万件で、その約6割は軽傷患者といわれており、市立病院本来の業務である二次救急医療に支障をきたしているのが現状です。このため、平成24年度の早い時期に初期救急急患診療所(仮称)を開所することが決まりました。小児医療については、平成14年に小児夜間急患診療所が開所しており、今回の対象は小児以外で365日夜8時から11時までで、当面は内科診療が対象となります。場所は市立病院に隣接する旧看護専門学校



開所場所となる旧看護専門学校

### 債権管理条例制定へ

平成22年度決算で69億円に及ぶ未収金が生じています。平成22年4月には、収納課に債権回収係を設置し、今議会では『債権管理条例』が提案され可決されました。債権には法律の適用や徴収の手続きも異なり、複雑になっています。この条例の制定によって、滞納処分や強制執行の手続きを厳格にし、公平・公正な行政運営の確立を目指します。

### 市役所駐車場使用料条例制定へ (行政財産の使用料に関する条例等制定へ)

市は自主財源を確保するために、市役所閉庁時の南側駐車場有料化が決定しました。平成24年6月1日から有料になり、使用料は30分毎100円で広報誌やホームページで市民の皆様にお知らせします。また越谷市の行政財産や都市公園の使用料に関する条例も定められ、4月1日から施行されます。

## その他主な活動から

### 平成24年度予算要望書提出

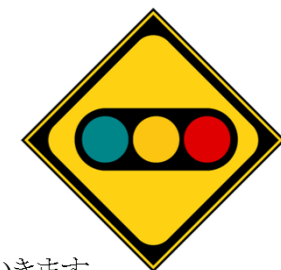
会派の各議員が、日々市民の皆様からお聞きした要望等を協議、精査してまとめたものを、市民生活が第一と考える当会派として「予算要望書」を市長に提出しました。私も所属委員会の担当分野である**教育、環境、経済、得意分野の情報通信、財政**を中心に要望をまとめました。要望の数は、13部局へ71項目となっております。



民主党・ネット・無所属の会にて予算要望を提出

### 公共交通網調査研究会⇒交通危険地帯、公共交通空白地帯を考える！

市民の皆様からの交通危険地帯の改善や、公共交通空白地帯の改善に対する要望は日々大きくなっています。現在、有志の議員によって公共交通網調査研究会が開かれ、公共交通について常日頃から勉強しています。そんな中、有志のメンバーではなく、議会(議員全員)でこの問題に本気で取り組んでいこうという動きが広がっています。私も先駆けて9月議会の一般質問で『条例を作り、正式な会議にしていくべき』との意見を言わせて頂きました。議会(議員)の役割は執行部から出された議案を審議するだけではありません。議会側から積極的に改善を誘発する動きをしていく必要があります。私はこの公共交通の問題について市民の皆様、議員そして執行部と本気の議論を重ね、しっかりと取り組んでいきます。



## 福田あきらの政策工程表

越谷市議会議員 福田あきら 政策実施のに向けた工程表(2011年12月20日時点)

政策	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	ゴール	進捗
<b>【政策1】地域に根ざしたまちづくり</b>						
①地元産業	越谷の特徴を活かした産業モデルの創出 若手経営者の育成・支援モデルの強化	質9 質12 質9	→	→	都市型農業の進展 都市型農業への若手参入モデルの促進	9月、12月一般質問実施 12月は地域ブランド 9月一般質問実施
②防災(災害対策)	IT(システム)からみた越谷市の防災体制のチェックと改善	質6 質12	→	→	調査(一般質問等)とその改善の実施	6月、12月(治水)一般質問実施、今後改善点チェック
③地域医療	予防医療の推進	→	→	→	ご年配の方のスポーツ促進・(特にグラウンドゴルフ)	今後
④自然環境	河川の美化、公園等の芝生化など	→	→	→		今後
⑤イベント	元氣なまちづくり(地域イベントの活性化) (自治会の活性化) (公共交通網の拡充)	質9 質12	→	→	イベントへの参加と問題点の改善 自治会の活性化 公共交通網拡充へ前進	9月12月一般質問実施、公共交通網拡充については公式な会議を持つことを提案し実行中
<b>【政策2】「無駄の排除」と「選択と集中」</b>						
	財務状況から傾向や問題チェックと改善	決9	→	→	継続したチェック改善	決算委員会にて質問
<b>【政策3】教育環境、子育て環境の整備</b>						
	子育て環境の整備(待機児童問題)	調12	→	→	待機児童一桁 その他問題の指摘改善	他市の状況調査実施
	学校図書館の拡充	→	→	→	学校司書等の配置の継続	新たな提案検討中
<b>【政策4】ご年配の方へのIT活用の推進</b>						
	Cityメールの推進/パソコン・携帯電話教室の開催	→	→	→	Cityメール普及活動	Cityメール普及活動中
<b>【政策5】徹底した情報発信</b>						
	行政/議会/国政いろいろな情報をブログにて発信	206	→	→	年間250件発信	ほぼ毎日発信中
<b>【その他】市民の皆様からのご意見募集</b>						
	その都度一常に活動・常にチャレンジ	→	→	→	すべての案件において誠実な対応	ご相談頂いた件対応中
<b>【報告】議会レポート報告</b>						
	議会レポート	議会ごとにレポート作成(7月、10月、1月、4月)			16回/4年	3回
	議会報告会	半年に一回開催(10月と4月予定)			8回/4年	0回

尚、政策の詳細および行程表の詳細は  
HP <http://akira-fukuda.com>に記載しております。

記号説明 → 事前調査/準備作業/審議 → 実行

● 質・一般質問(数字は実施月) 調・調査実施 予・予算委員会 決・決算委員会 数字・・・回数を表す